

しんとみ

ニュース

阿萬登喜夫さんが
旭日単光章を受章

二元新富町議会議員の阿萬登喜夫さんが旭日単光章を受章されました。阿萬さんは平成3年5月から平成19年4月連続4期16年にわたり、町議会議員として在職。各種委員会委員長を歴任し豊富な経験と広い見識で町政に尽力するなど、地方自治の伸展に大きく寄与され、このたびの受章となりました。

新富町区長会が町長に
要望書を提出しました

12月2日、新富町区長会（長濱博会長）は小嶋町長に対し、告示日以降に建設された住宅防音工事および、騒音区域内にありながら防音工事対象外の住宅について、外郭防音工事の実施を国に強く働きかけるよう要望しました。長濱会長は「住民の不安や不公平だという声を国に届けてほしい」と訴えました。

区長が防災講話を受講
地区活動の重要性確認

新富町区長会（長濱博会長）の研修の一環として、総合交流センターきらりにおいて、役場総務課の危機管理専門官・黒田修氏を講師に、「防災と地区での取組み」と題して防災講話が開催されました。

町内で発生が想定される災害の脅威を、ビデオやスライドを使って認識してもらったのち、地区としての対応や地区住民の助け合いの大切さを説明。区長を中心とした地区活動の重要性を理解してもらいました。

今年で89回目となる
古墳祭が行われました

毎年11月11日に、新田原古墳群で行われる古墳祭。大正昭和初期に起こった盗掘事件を受けて、先祖供養のため、古墳を地域で守る意識を育むために、昭和6年から始まりました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、神事のみ実施。新田原古墳群保存会会長の高家武男さんは、「戦中を除き続いてきたので、無事執り行えて安堵しました。これから100年、200年先まで続くとうれしい」と語りました。

「社会を明るく運動作文
コンテスト」優秀賞入賞

第70回「社会を明るく運動作文コンテスト」が実施され、県内からは小中学生726点の応募がありました。この中から、田園の里新田学園中学部3年・大上聖翔（おおうえみう）さんの応募作品「明るい社会にするために」が、宮崎県保護観察所長賞（優秀賞）を受賞しました。

コロナ禍の中で、身近で増えてきた犯罪等の社会問題に対する思いを書かれたすばらしい作文でした。

